

## 企画展 修理のあとに エトセトラ

The Et Ceteras after Conservation:

Works from the Collection of the Kosetsu Museum of Art



「文化財の修理って、何をどうしているの？」

修理のイロイロ紹介します ※香雪美術館の場合

文化財の修理は、高度な**技術**と厳選された**材料や道具**を使い、そこに**多くの人の**知識と熱意が加わることで成り立つ**一大プロジェクト**です。いまできる最善の方法を模索しながら、長い時間をかけて行われます。この展覧会では、修理を終えた所蔵作品およそ30件（重要文化財4件、重要美術品3件含む）を、修理をとり巻く**ひと、もの、わざ**とともに紹介します。

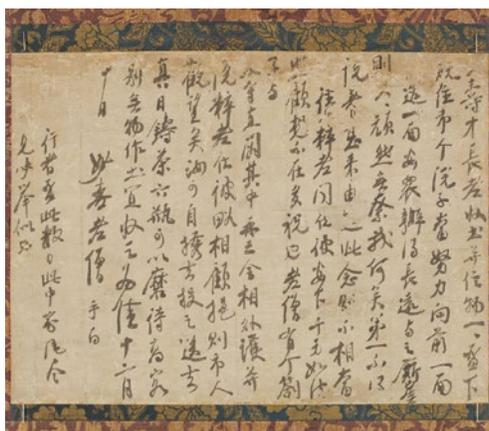
### ■香雪美術館と修理事業について■

香雪美術館は1973年の開館以来、50年の歴史を刻みます。国の重要文化財に指定されている旧村山家住宅と、多彩なジャンルのコレクションを保存管理しつつ公開を続けてきました。2013年より所蔵品の修理事業を本格的に始動させ、公開と保存という美術館の使命を果たすよう努めています。

## 第1章 紙にかかれた書と絵

東アジアの古い書画は、紙あるいは絹にかかれたものが大半です。作品がかかれる紙や絹のことを、<sup>きていざい</sup>基底材といいますが、紙は植物をほぐした繊維をシート状に漉きあげたもので、材料や製作方法等の違いによってさまざまな特性を持ちます。紙の特性をふまえて行われた修理の例として7点を紹介します。

修理後



### ① 重要文化財

大慧宗杲 尺牘 才長老宛  
中国 南宋時代 12世紀

修理の際の紙質検査で竹を原料とした「竹紙」を使用していることがわかりました。



「上叢本三十六歌仙絵 猿丸大夫」解体修理の一幕  
作品の裏に直接貼り付けられた裏打ち紙を新しいものに取り替えました。折れたりシワになったりといった作品の傷みが解消されます。

修理後



### ② 上叢本三十六歌仙絵 猿丸大夫 鎌倉時代 13世紀

## 第2章 木をきざんだ仏と神

日本の寺社には、木の仏像や神像がまつられています。木彫像は、時代や地域によってつくり方に違いが見られ、一本の材木から像の大部分を彫り出した一木造や、いくつかの木材を組み合わせて彫り出す寄木造が知られています。像の表面は、金や岩絵具によって鮮やかに彩色したり、木の材質感や鑿あとのそのまま生かしたりと様々です。修理は、こうした構造や表面仕上げにあわせて行われます。

修理前



台座が問題でした！  
平らに接地する面積はわずか。  
揺れ止めのくさびを挿しこんで  
立たせていました。おまけに、  
虫にくわれて木材はぼそぼそ  
なっていました。

修理後



### ③ 重要文化財 薬師如来立像 平安時代 9世紀

“しっかりと立つ”ようになりました。

### 第3章 キャンバスにかかれた絵

香雪美術館は油絵もコレクションしています。いずれも厚手の布を木枠等に貼り付けたキャンバスを基底材としています。キャンバスの傷み方は様々ですが、衝撃によって布が破れたり、温湿度変化に伴う収縮によって絵具が割れたりします。修理ではまず表面に塗られたワニスを取り除く**洗浄作業**が重要で、見違えるほどきれいに見えるようになります。



修理前 赤枠は破れた部分



拡大

④ 川口軌外 柘榴Ⅱ  
昭和14年(1939)頃

修理後 表面の汚れをクリーニングし、  
キャンバスの破れた部分を補修しました。

### 第4章 絹にかかれた絵

かいこ まゆ

絹は蚕の繭からとった繊維でつくった織物です。絹を使った絵画では、絹糸の透明感と縦横の糸が交差する織物の構造を利用し、裏側から彩色することで柔らかい発色を出す**裏彩色**など、素材特有の技法が生み出されました。また、絹だけでは形が定まらないため、裏から紙をあてる**裏打ち**が施されます。これらの技法からなる絹作品の修理を見ていきます。



修理後



修理中

絹の裏から撮影した赤外線写真を左右反転  
白く見える部分は、絹がなくなってしまった部分です。

⑤ 一字金輪像 鎌倉時代 14世紀  
絹がなくなった部分に新しい絹を補いました。  
「新しい」と言っても、あえて劣化させて、700年前の  
絹と強度を合わせています。



⑥ 重要美術品  
鳥文斎栄之 美人夏姿図  
江戸時代 19世紀

修理後

女性の肉身部は発色がよくなりました。  
本紙の裏に直接貼り付けた紙を薄墨色か  
ら明るい色に取り替えたためです。



修理前

胸元や右腕の肌の色が  
沈んで見えます



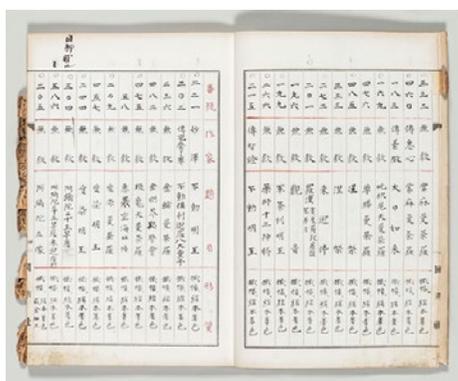
⑦ 修理風景  
「毘沙門天像」(不出品)の  
裏打ち紙の除去作業

## 付録 村山龍平と書画コレクションの整理

香雪美術館の所蔵品の中核を築いた村山龍平<sup>むらやまりょうへい</sup>(1850~1933、朝日新聞創業者)は、収集した書画作品をジャンルや形態で整理分類し、『古書画仮目録』<sup>こしょがかりもくろく</sup>を作りました。もともと「日本の文化財を守りたい」という一心から**収集**をはじめた龍平は、次の時代へと作品を伝えていくための**修理**も同時に行っていたようです。村山家には、掛軸などの表装に用いる裂<sup>きれ</sup>が大量に保管されていました。修理で取り替えられた過去の表具等もあわせて、書画コレクションの整理の歴史をのぞいてみます。



『古書画仮目録』



龍平が集めた裂

## 第5章 金属と漆の工芸

かぶと よろい  
兜や鎧には、金属、革、絹、漆など**多種多様な素材**が使われています。各素材に起因する傷みが生じるため、それぞれの状況に合わせて複雑な修理が行われます。**鉄**でできた刀は錆<sup>さび</sup>が生じることがあり、定期的なメンテナンスが必要になります。**漆**<sup>うるし</sup>は高い耐久性がありますが、カビがついたり乾燥したりすると、漆や中の木が割れることがあります。これら工芸品の修理は、それぞれの制作技法や素材を熟知した技術者によって施されます。



修理後  
⑧ 重要美術品  
鉄二十二間四方白星兜  
鎌倉時代 14世紀



修理後  
⑨ 脇指 銘 康光 室町時代 14~15世紀



参考  
薙刀 銘 信国(部分)  
刀身についた錆



修理後  
修理前 漆に亀裂が入っています。

⑩ 牡丹文堆朱天目台  
中国 明時代 15~16世紀

作品画像貸出一覧



①



②



③



④



⑤



⑥



⑦



⑧



⑨



⑩

- ① 重要文化財 だいえ そうこう せきとくさいちようろうあて 大慧宗杲 尺牘 才長老宛 中国 南宋時代 12世紀
- ② 上叢本三十六歌仙絵 あげだみほんさんじゆうろつかせんえ きるまる だゆう 猿丸太夫 鎌倉時代 13世紀
- ③ 重要文化財 やくしによらいりゆうぞう 薬師如来立像 平安時代 9世紀
- ④ 川口軌外 柘榴Ⅱ かわぐちきがい さくら 昭和14年(1939)頃
- ⑤ 一字金輪像 いち じきんりんぞう 鎌倉時代 14世紀
- ⑥ 重要美術品 ちようぶんさいえいし びじん なつすがたず 鳥文斎栄之 美人夏姿図 江戸時代 19世紀
- ⑦ 修理風景
- ⑧ 重要美術品 てつ にじゆうに けん しほうしるほしかぶと 鉄二十二間四方白星兜 鎌倉時代 14世紀
- ⑨ 脇指 わきざし めい やすみつ 銘 康光 室町時代 14～15世紀
- ⑩ 牡丹文堆朱天目台 ぼたん もん ついしゆてんもくだい 中国 明時代 15～16世紀

## 開催概要

- 会期** 2023年4月8日(土)～5月21日(日)
- 休館日** 月曜日
- 開館時間** 午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
- 夜間特別開館** 4月27日(木)、5月18日(木)～午後7時30分(入館は午後7時まで)
- 料金** 一般1,200円(1,000)円、高大生700(500)円、小中生400(200)円  
◎( )内は前売り(一般のみ)、20名以上の団体料金  
◎前売り券は4月7日まで中之島香雪美術館、フェスティバルホール・チケットセンターで販売しています。
- 主催** 公益財団法人 香雪美術館、朝日新聞社
- 会場** 中之島香雪美術館  
〒530-0005 大阪市北区中之島3-2-4 中之島フェスティバルタワー・ウエスト4階  
TEL 06-6210-3766 FAX 06-6210-4190 <https://www.kosetsu-museum.or.jp/nakanoshima/>  
Twitter@kosetsu\_museum

## 講演会

**テーマ** 「修理を支えるわざ」【今こそ知っておきたい、「選定保存技術」のあれこれ。】

**講師** 中野 慎之 (なかの・のりゆき) 氏 (文化庁 文化財第一課)

- 【日時】** 5月13日(土) 午後2時～午後3時30分(受付開始午後1時30分)
- 【会場】** 中之島会館(中之島香雪美術館隣)
- 【参加料】** 500円(展覧会観覧ご希望の方は、別途入館券をご購入ください)
- 【定員】** 120名(予定)
- 【応募方法】** 1通で2名様まで応募可能。参加人数、それぞれの住所、氏名、年齢、電話番号を明記ください。

**メール** 以下アドレス宛にお申し込みください。詳細を返信します。  
E-mail: [n-kouenkai@kosetsu-museum.or.jp](mailto:n-kouenkai@kosetsu-museum.or.jp) (※左記アドレスを受信可能に設定してください)

**往復ハガキ** 返信ハガキの宛先には、代表者の住所、氏名をご記入ください。返信ハガキで参加証を郵送します。  
【宛先】〒530-0005 大阪市北区中之島3-2-4 中之島フェスティバルタワー・ウエスト4階  
中之島香雪美術館「修理のあとに エトセトラ」展 講演会係

FAX: 06-6210-4190

取材・写真使用申込書

中之島香雪美術館

Nakanoshima Kosetsu Museum of Art

(西暦) 年 月 日

取材について

取 材 者	フリガナ	フリガナ
	会社名	担当者名(連絡者)
	住所 〒	TEL
		FAX
	E-mail	取材人数 名
取材希望日時	(西暦) 年 月 日 時 分 ~ 時 分	
媒 体	種別 <input type="checkbox"/> テレビ <input type="checkbox"/> ラジオ <input type="checkbox"/> 新聞 <input type="checkbox"/> 雑誌 <input type="checkbox"/> その他( )	
	番組名・コーナー名	
放送・発行日等	(西暦) 年 月 日 時 分 ~ 時 分	
取材の範囲	<input type="checkbox"/> する (撮影機材 <input type="checkbox"/> スチール <input type="checkbox"/> ENG <input type="checkbox"/> DVC) 撮影 <input type="checkbox"/> しない	
備 考	特に取材したい場所・内容等	

写真使用について

プレス用写真一覧をご確認の上、希望画像番号をご明記ください。

作 品 画 像	中之島香雪美術館 館 内 画 像
---------	---------------------

注 意 事 項
---------

- ・企画書など概要がわかる書類の提出をお願いいたします。
- ・原稿および記事については貴メディアへ御掲載前に中之島香雪美術館広報担当宛に確認のためお送りくださいますようお願いいたします。
- ・掲載後は掲載誌等の送付をお願いしております。
- ・画像の名称(作品名)、指定、展示期間、所蔵元、クレジット(ある場合)を記載してください。
- ・サイズは、(web掲載用)長辺1000px 100dpi (紙媒体用)長辺1000px 300dpi まで。
- ・ウェブ掲載の場合、掲載期間を最長6ヶ月とし、その後は削除をお願いします。それ以上の期間掲載をご希望の方は、再度ご連絡ください。

報道関係のお問い合わせ

「中之島香雪美術館」 広報担当

TEL 06-6210-3766 FAX 06-6210-4190 Email n-kouhou@kosetsu-museum.or.jp  
〒530-0005 大阪市北区中之島3-2-4 中之島フェスティバルタワー・ウエスト 4階